

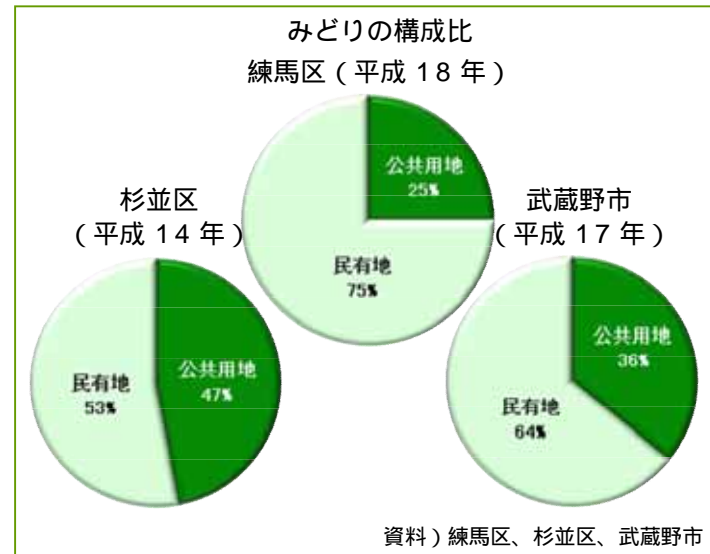
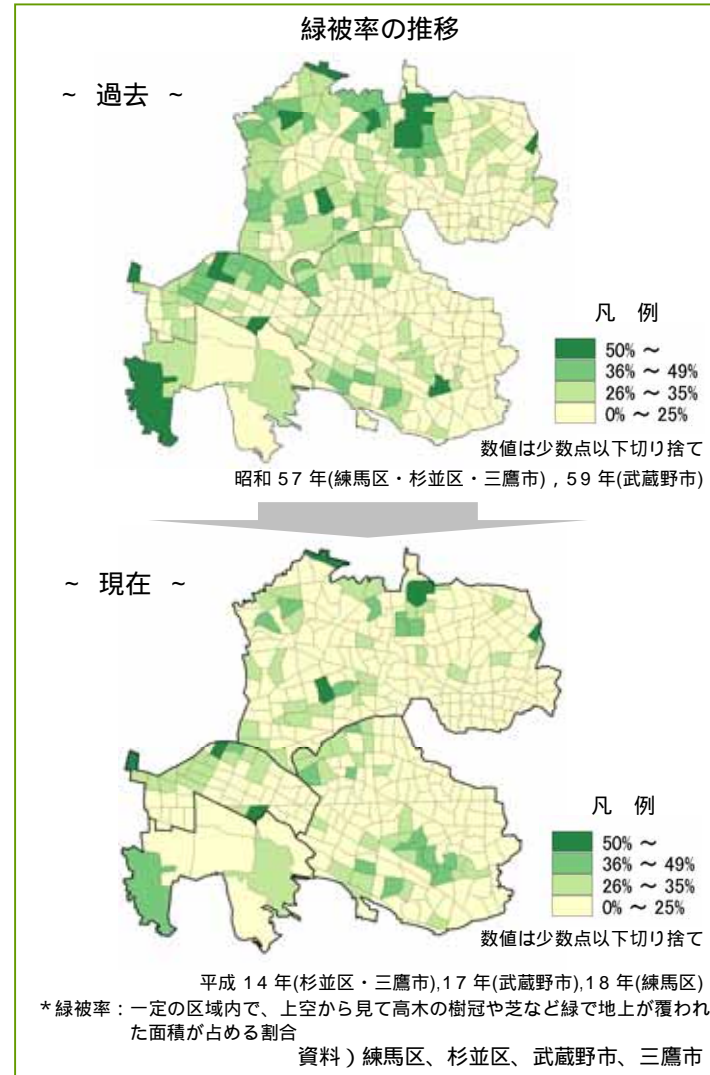


環境

～快適な都市環境の創出や地域環境の改善などの観点から検討します～

都市の成長の過程で失われたみどり

- ・都市の成長の過程でみどりが減少しています。
- ・また、みどりの構成比は公共用地に比べて民有地の割合が高く、将来にわたって、みどりの保全が不確実な状況です。



みどり豊かな都市空間のネットワーク

- ・外環の地上部街路が計画されている周辺地域では、石神井公園、善福寺公園や井の頭恩賜公園など大規模な拠点のみどりや、街路樹、玉川上水などがそれぞれに存在しています。

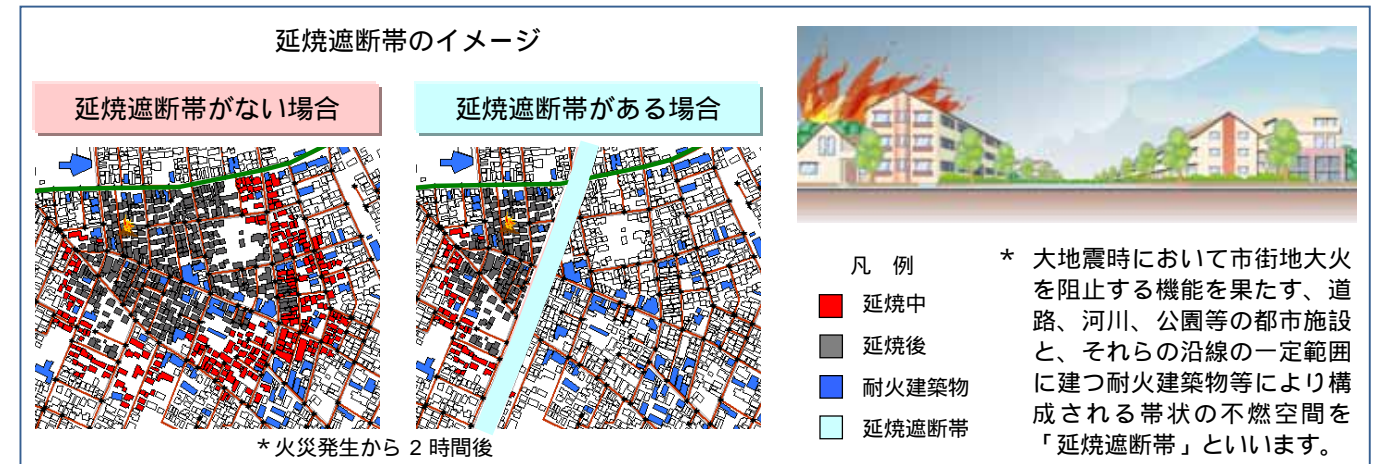
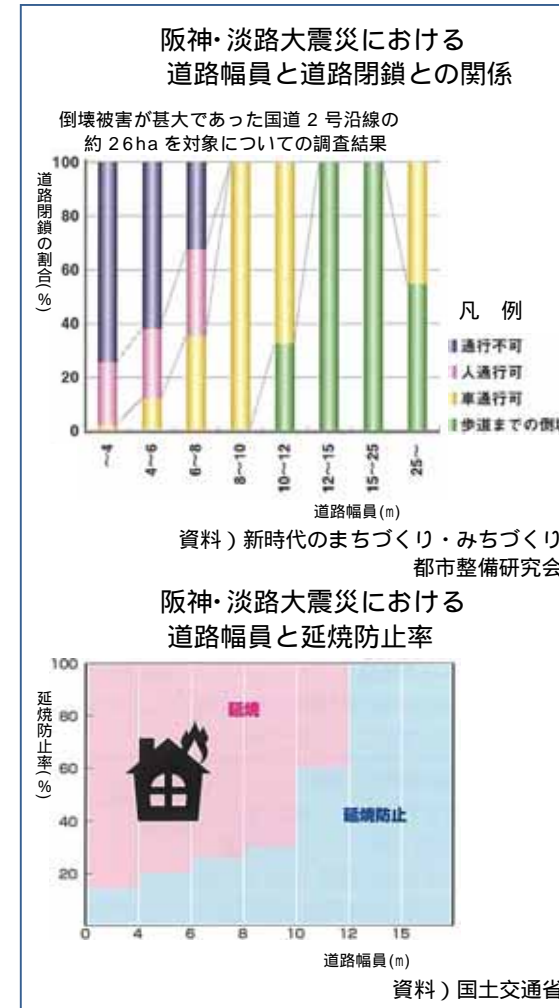


防災

～広域的な救援・救護活動や延焼遮断帯の形成などの観点から検討します～

震災時の道路閉塞や延焼を防ぐ道路

- ・阪神・淡路大震災では、8m未満の道路のほとんどで車両の通行が不能になったのに対し、8m以上の道路では車両の通行が確保されました。また、12m以上の道路で延焼が防止されました。
- ・狭い生活道路が多い地域では、震災時において、円滑な救助活動等が行えないおそれがあります。





交通

～人とモノの流れの円滑化や交通の安全性の向上などの観点から検討します～

通過交通の生活道路への流入

- ・幅員の狭い住宅地内の生活道路や、歩道が整備されていない生活道路に通過交通が流入すると安全がおびやかされ、交通事故が発生しやすくなります。
- ・全体として東西方向に比べて南北方向の都市計画道路の整備が進んでいない状況です。

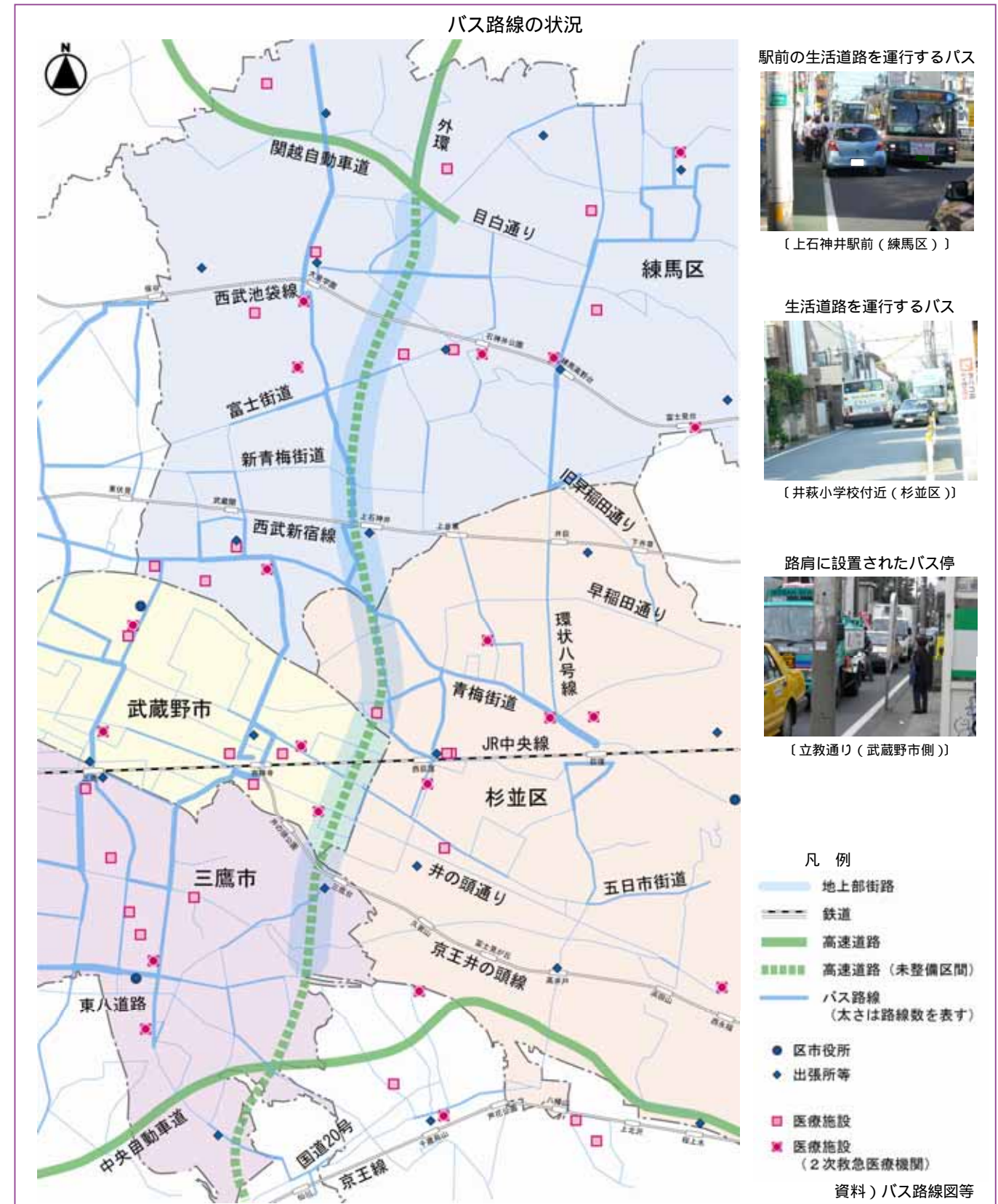
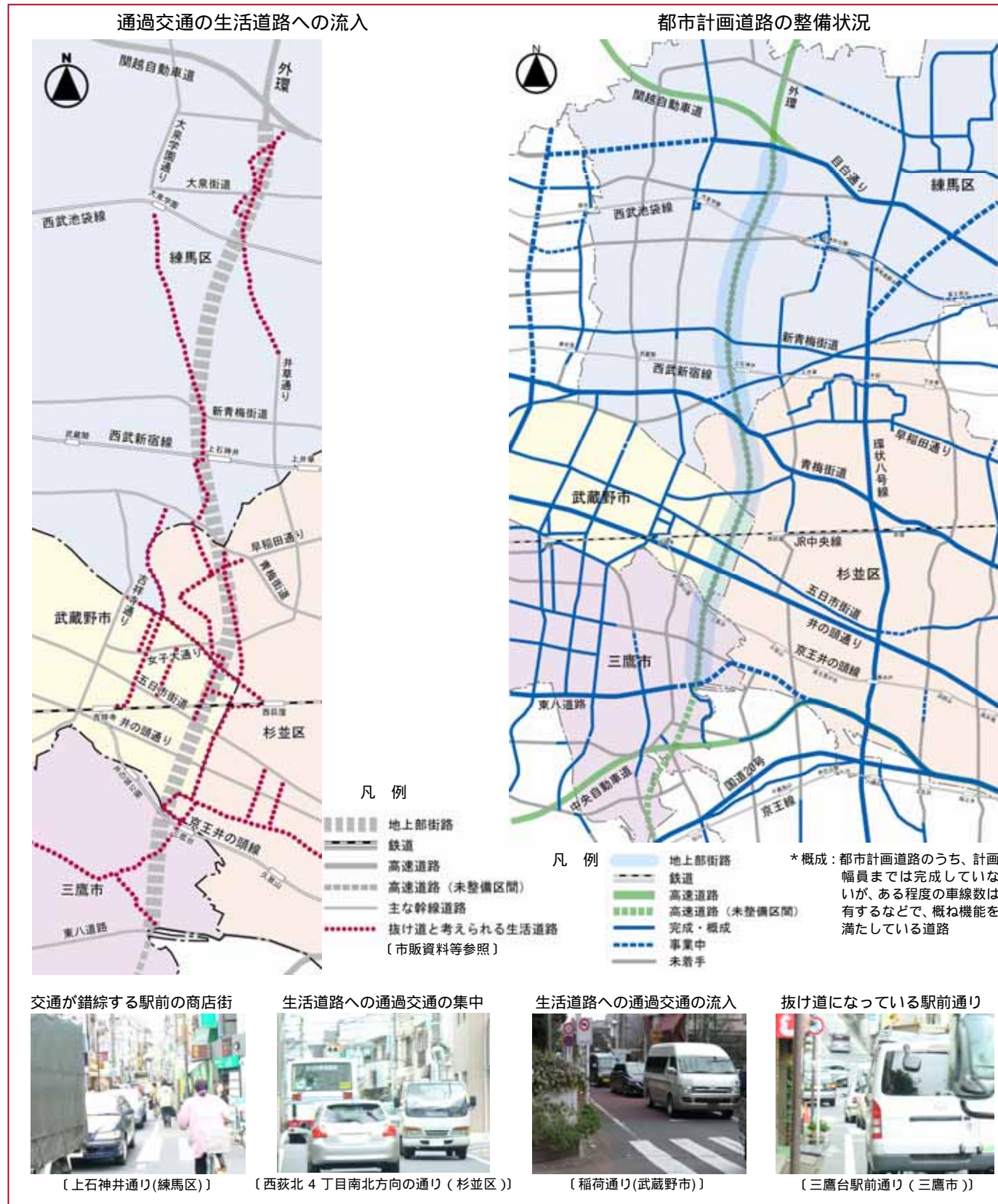


暮らし

～質の高い生活環境の創出などの観点から検討します～

暮らしを支える公共交通

- ・鉄道駅間を南北方向に結ぶ公共交通はバスが担っています。
- ・生活道路を運行するバスの定時性確保や、安全・安心で快適なバスの利用についての取組が重要です。



検討の視点

都市計画道路とは

- 都市計画道路は、都市を形成する最も基本的な都市基盤です。
- 交通、環境、防災などさまざまな機能があり、これらの機能を十分発揮し、良好な都市形成に寄与するよう計画しています。



都市計画道路の主な機能

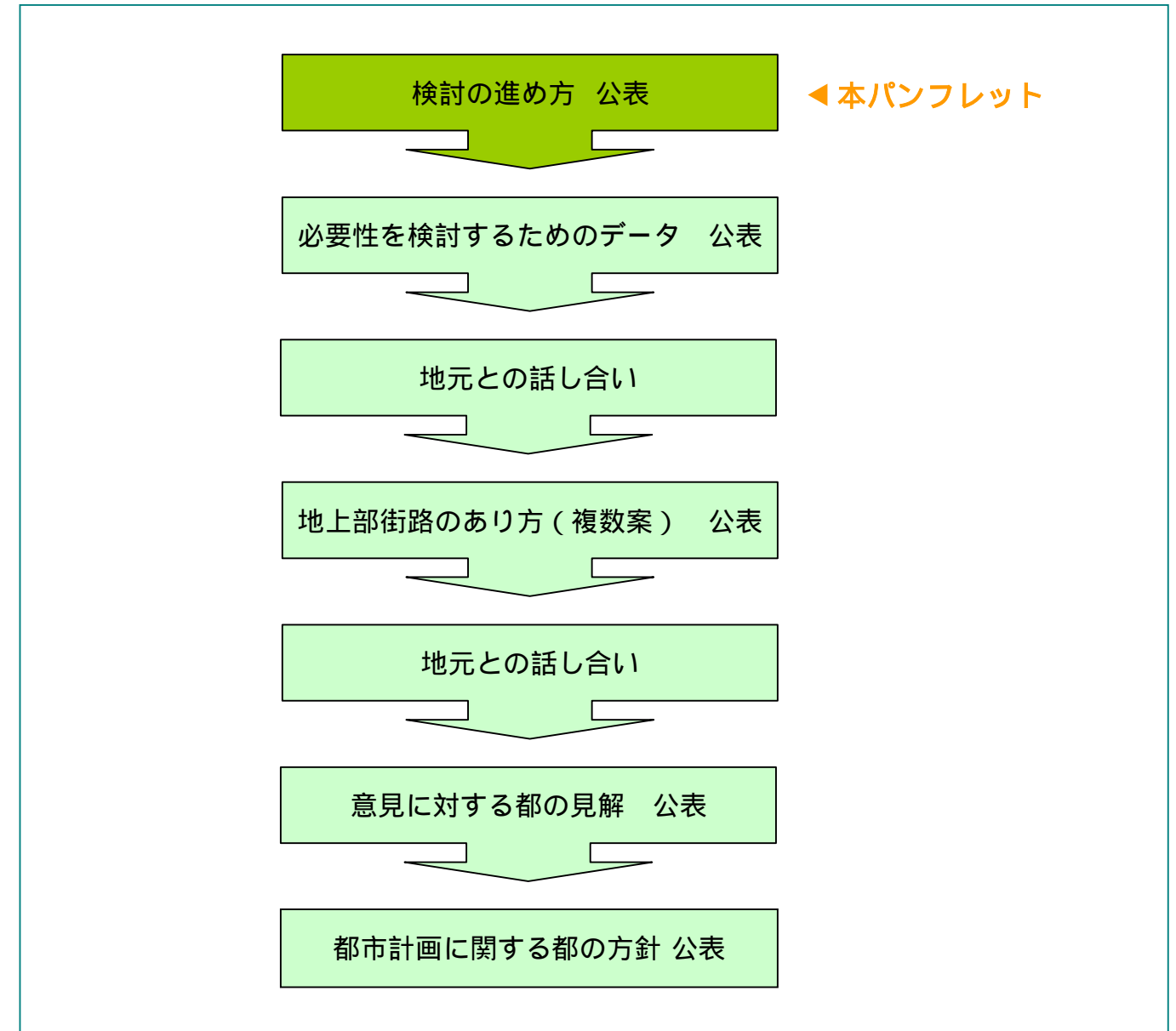
機能の区分		内容
交通機能	通行機能	人や物質の移動の通行空間としての機能（トラフィック機能）
	沿道利用機能	沿道の土地利用のための出入、自動車の駐停車、貨物の積み降ろし等の沿道サービス機能（アクセス機能）
都市環境機能		景観、日照等の都市環境保全のための機能
都市防災機能	避難・救援機能	災害発生時の避難通路や救護活動のための通路としての機能
	災害防止機能	火災等の拡大を遅延・防止するための機能
市街地形成機能	都市構造・土地利用の誘導形成	都市の骨格を形成するとともに、その発展方向や土地利用の方向を規定する
	街区形成機能	一定規模の宅地を区画する街区を形成する
	生活空間	人々が集い、遊び、語らう日常生活のコミュニティ空間

資料) 実務者のための新都市計画マニュアル ((社)日本都市計画学会 編)



検討のプロセス

- 外環の地上部街路について、検討のプロセスや検討の視点を明らかにするため、「検討の進め方」(本パンフレット)を作成しました。
- 今後、環境、防災、交通、暮らしの4つの視点で、この道路の必要性やあり方などについて、広く意見を聴きながら検討を進め、都市計画に関する都の方針をとりまとめていきます。



外環の地上部街路について、皆さんの意見を聴きながら検討を進めてまいります。

検討の視点

	広域的な視点	地域的な視点
環境	快適な都市環境の創出 地球環境の保全 など	地域環境の改善 良好な景観形成 など
防災	広域的な救援・救護活動 緊急輸送ネットワークの確保 など	延焼遮断帯の形成 安全な避難路の確保 など
交通	人とモノの流れの円滑化 地域間の連携 など	交通事故の減少 日々の暮らしにおける 安全性の向上 など
暮らし	質の高い生活環境の創出 公共交通との連携強化 など	まちづくりへの支援 バリアフリー化の推進 など

お問い合わせ先

東京都都市整備局 都市基盤部 街路計画課 外かく環状道路担当

〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1 第二本庁舎22階南側 電話：03-5388-3279

ホームページ：http://www.toshiseibi.metro.tokyo.jp/kiban/gaikaku/index.html